

Campus Mail

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

For all the students

掲示期間 2022-030
6月02日～6月21日

令和4年度 モノづくりセンター プロジェクト活動目標・計画発表会開催

モノづくりセンターのプロジェクトは、1年間を通して PDCA サイクルに沿った活動を行っています。5月23日（月）令和4年度モノづくりセンター「プロジェクト活動目標・計画発表会」が開催され、学生、教職員約70名が参加しました。

これは16のプロジェクトが今年度の目標・計画を立案し、発表を行ったもので、学生が実行委員となり自主性をもって運営にあたり実施されました。開会にあたり藤原・学術支援機構長付次長より挨拶があり、PDCAを意識した活動の重要性が伝えられました。各プロジェクトは今年度SDGsに貢献する項目も目標の一部として掲げ、活発な活動につながるよう、具体的な行動目標や実施項目がスケジュールに落とし込まれた内容を発表しました。最後に講評として数仲・モノづくりセンター長より、学生の取り組みについて感動したとの感想が伝えられ、活動は短期・中期どのような作業をするかを明確にし、プロジェクトを実行いただきたいとの温かいアドバイスがありました。

実施後のアンケートでは、各プロジェクトの発表に対し、目標設定やスケジュールは適正で計画的であるかなどが評価され、全体として新メンバーの加入やチーム内での情報共有などについての課題が浮き彫りになり、またプレゼンと報告内容の優れたチームに刺激を受け、今後の発展的な活動につながる発表会となりました。



2022年度 モノづくりセンタープロジェクト

- | | |
|--------------|--------------|
| ① ソーラーカー | ⑨ 衛星コン |
| ② ロボコン | ⑩ ロボットアーム |
| ③ ロボット相撲 | ⑪ アマチュア無線体験 |
| ④ 手作りアクセサリ | ⑫ おとめが池の環境保全 |
| ⑤ 二足歩行ロボット | ⑬ 放電加工回路の作製 |
| ⑥ 4輪2輪メンデピット | ⑭ グッズ製作 |
| ⑦ エアホッケーロボット | ⑮ 未来のICT |
| ⑧ レゴからくり | ⑯ 超電導デモ |

プロジェクトが貢献するSDGsの目標設定で最も多かった項目



3. 活動目標

3-1. SDGs貢献項目

- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 13 気候変動に具体的な対策を

電気によって走る車両を作ることで、環境問題に貢献する事ができます。



3. 活動目標

3-2. 令和4年度目標

- ・「KV-40」への出場
4月～7月までの活動
- ・次年度への引き継ぎ
8月以降の活動



プレゼンの例：ソーラーカープロジェクト プレゼンの一部 ・活動目標にSDGsに貢献する項目を設定

R3年度の成果と課題

R3年度の成果

R3年度の活動目標

- | | |
|---------------|-----------------------|
| - 新規回路の完成 | → 本計画は遅延。最終調整中のもの有 |
| - 部内大会の実施 | → 計3回実施、進捗をそろえることができた |
| - 仮システムの実装 | → 試作品完成。テスト待ち。 |
| - メンバーへの技術の継承 | → 3年は習熟済、2年は順調に継承中と判断 |
| - 次年度大会に向けた調整 | → R3大会は中止。来年度まで継続 |

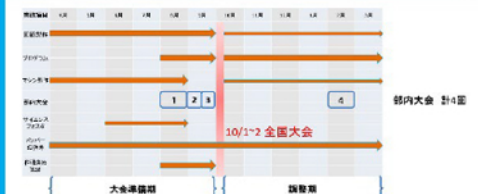
実施項目とスケジュール

・ラジコン回路基板の完成及び自立用回路基板の実用化の目的

- 試作基板の発注と動作テスト、修正点の洗い出し
 - 実行予定
- ※自立機体を目指すメンバー多数につき優先度は高い。
→ 実用可能かの判断が最優先



実施項目とスケジュール



プレゼンの例：ロボット相撲プロジェクト プレゼンの一部 ・昨年度の活動を検証、課題を見出し、今年度の目標と具体的な実施計画を立案